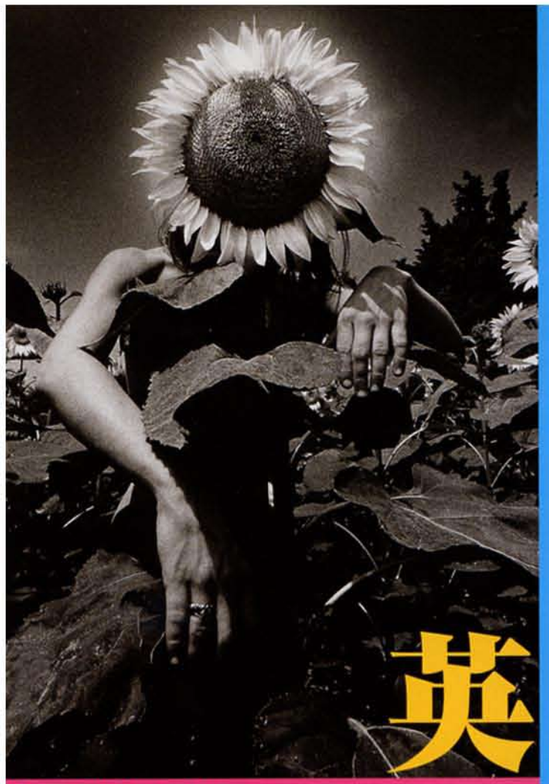
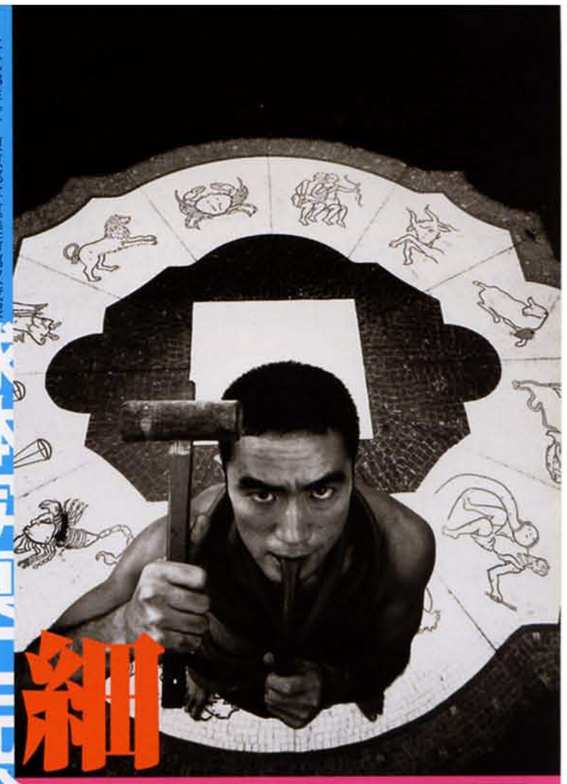




平成18年度　東京都写真美術館収蔵展

球体写真二元論　細江英公の世界

SPHERICAL DUALISM OF PHOTOGRAPHY: A World of Eikoh Hosoe

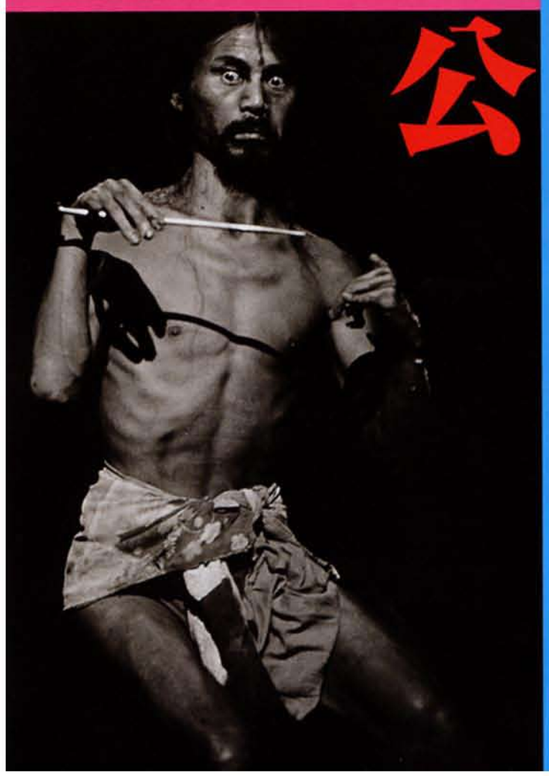
●主催＝東京都　東京都写真美術館　●協賛＝(株)ニコン、ニコンカメラ販売(株)　●特別協力＝清里フォトアートミュージアム　●協力＝フォト・ギャラリー・インターナショナル、(株)フレームマン、日本写真印刷(株)、青幻舎

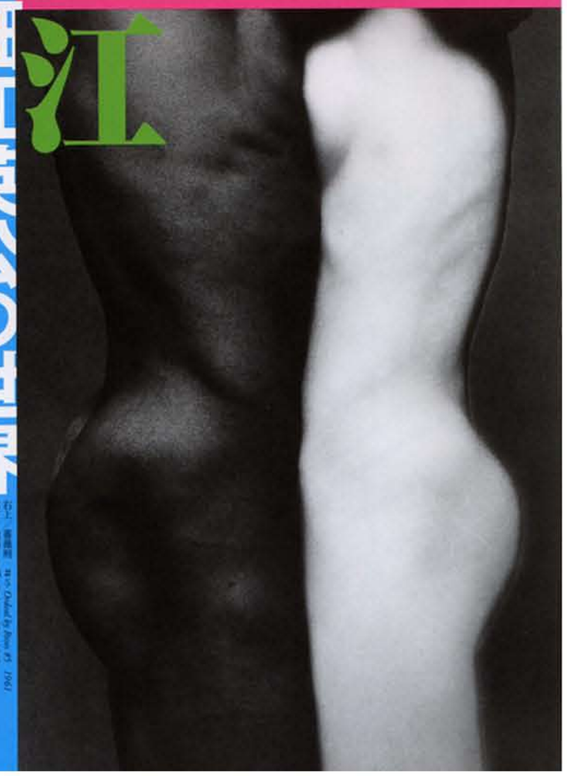
二〇〇六年十二月九日(土)～二〇〇七年一月二十八日(日)

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

東京都写真美術館 2階展示室

開館時間　10:00～18:00(木・金は20:00まで、ただし12月28日は18:00まで)　入館は閉館30分前まで
休館日　毎月第2、第4金曜日、祝日を除く月曜日、月曜が祝日の場合は翌日の火曜日および12月29日(金)から1月1日(月)
※年始特別開館(1月2日～4日まで)は11:00～18:00
観覧料　一般500(400)円　学生400(320)円　中高生・65歳以上250(200)円　※( )は20名以上の団体料金
＊小学生以下、障害をお持ちの方とその介護者は無料　＊第3水曜日に観覧する65歳以上は無料
＊東京都写真美術館友の会会員は無料





東京都写真美術館収蔵展

球体写真二元論　細江英公の世界

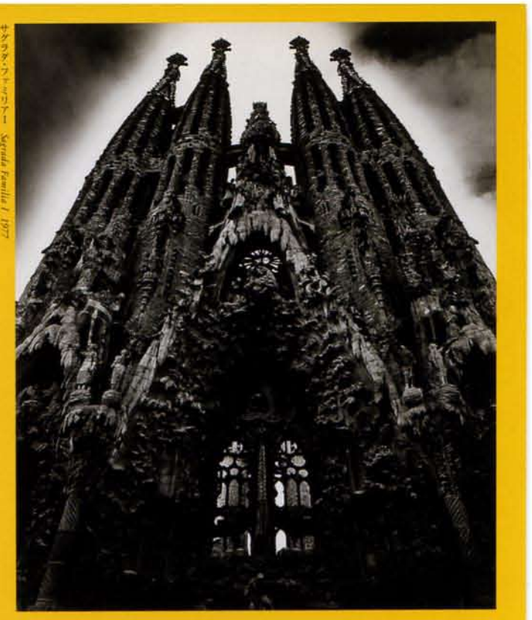
SPHERICAL DUALISM OF PHOTOGRAPHY: A World of Eikoh Hosoe

東京都写真美術館では、毎年開催して参りました重点収集作家個展の一環として、本年度は細江英公の活動を振り返る写真展を開催いたします。

細江英公は、1950年代後半から本格的に写真に取り組み、1960年前後に「10人の眼」展や「VIVO」などでの作家活動を通じて、日本の戦後写真に新たな地平を切り開きました。そして1960年代を通じて発表された「おとこと女」「薔薇刑」「鎌鼬(かまいたち)」などの作品は、細江のユニークな写真的世界を代表するだけでなく、国際的にも同時代の写真表現を代表する作品として位置づけられています。そして1970年代以降も旺盛な作家活動は止むことなく、数々の問題作を世に送り出してきています。

本展では、初期の作品から1960年代を代表する「おとこと女」や「薔薇刑」「鎌鼬(かまいたち)」、70年代以降を代表する「抱擁」や「ガウディの宇宙」などのシリーズに加えて、これまでの個展では紹介されることのなかった「たかちゃんとぼく」「おかあさんのばか」といった写真絵本の世界を展示構成します。

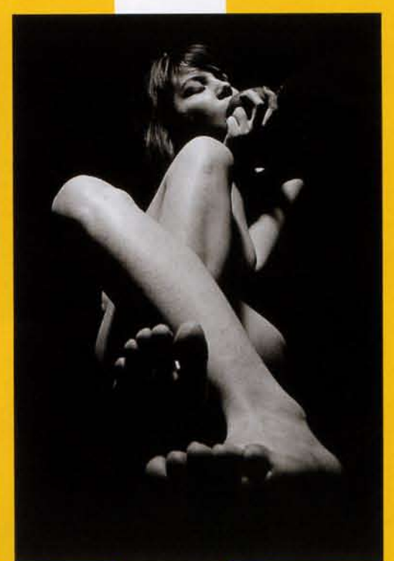
そこには、細江英公というユニークな才能が切り開いた豊かな写真的世界が展開されるに違いありません。



サグラダ・ファミリアー　Sagrada Familia 1　1977

写真絵本「たかちゃんとぼく」

鎌鼬　#8　Kamaitachi #8　1965



おとこと女　#15　Man and Woman #15　1961

Cafe Talk ●**カフェトーク**

講師＝細江英公(出品作家)
2006年12月10日(日)　17:00～
2007年　1月14日(日)　17:00～
●場所＝2階カフェ・シャンブル クレール
●定員＝各回35名
●参加費＝**1500円**(展覧会チケット・ドリンク付き)
申し込み方法など詳細は東京都写真美術館のホームページでご確認ください。

Floor Lecture ●**フロアレクチャー**

会期中、毎月第2、第4金曜日14:00より担当学芸員による展示解説を行います。

平成18年度 東京都写真美術館収蔵展
関連書籍販売のお知らせ

展覧会の開催に関連して、
担当学芸員の企画・監修による
「写真家 細江英公の世界」を
発売します。

1960年代を代表する「おとこと女」「薔薇刑」「鎌鼬」をはじめ、「抱擁」「ガウディの宇宙」など数々の名作を網羅した写真集。

青幻舎刊　予価3,150円(税込)

当館のミュージアムショップ、
全国の有名書店でお求めいただけます。

東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内
ＪＲ恵比寿駅東口より徒歩７分
東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩 10 分
お車でご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください
〒 153-0062　東京都目黒区三田 1-13-3
TEL:03-3280-0099
www.syabi.com